
変形黙示録 -ジェットロン~

スカイワッフル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

変形黙示録 - ジェットロン -

【Nコード】

N0049T

【作者名】

スカイワツフル

【あらすじ】

スタースクリーム、スカイワープ、サンダークラッカー、三人合わせて『ジェットロン』は『とある世界』にて活躍していた。が、『トランスフォーマーの神』のミスにより、『さらに違う世界』へ飛ばされてしまう。そしてその世界で、エネルギーを集めようと発電所を襲った一行。だが、そこで目にした光景は異常な物だった。そこは人間が人間を食らい、食われた人間は起き上がり、人間を食らう。そんな《奴ら》だらけの世界で、彼らはある出会いを果たす。

作者から、

はい、この物語は『とある機械の航空参謀』の外伝版です！そんな内容はジェットロンと学園黙示録はクロスです！うん、多分投票は不定期です。そしてトランスフォーマー知らない人はちよっと困ると思います。

じゃないと大変な事になっちゃうよ！

最後に一言。これだけは言わせて下さい。はい。

スタスク「デストロン軍のニューリーダーはこの俺だ！」（失敗フラグ）

始まりは単なるイタズラ（前書き）

スタスク「この馬鹿作者がついに俺達の外伝作りやがった」
スカワ「まあ、それほど俺たちが気に入っているのかね？」
サンクラ「は、どうせ俺は地味な役柄にきまつてる」

「クソツタレ！ここは何処だ？」

スタースクリームが周りを見渡す。

そして彼の表情が尚更険しくなり、拳に力が入った

「ふっざけんな！なんで人間共が暮らす様な汚ねえー場所に居やがるんだ！？これも神の仕業か！」

彼は苛立ちを露わにした。

理由は、最初に居た場所が戦艦基地では無く、人間の遊び場の『公園』だからだ。

公園と言っても様々有るが、木々が生い茂っている。

「なんだってんだ？！俺の肝を抜かす様なサプライズとかったのはナシだぜ！？」

スカイワープが頭を押さえながら言う。

それを察したサンダークラッカーは、

「……はは、ヒューズが飛んだのはお前だけじゃ無い。

俺も、スタースクリームも一緒の様だ」

真面目さと笑みが五分五分な表情で言い放った。

彼の事実に言葉にスカイワープは何も言えず黙ってしまふ。

スタースクリームは二人のやり取りを黙って聞いていたが、ある事にきずいた。

「なんだこれは？携帯モニタか？」

スタースクリーンは薄いガラスの様な物を拾い上げる。

これは彼の言うとうり『携帯モニタ』と言う物で、簡単に持ち運べるようにガラスの様に薄くしたコンピュータだ。

と言ってもそれはトランスフォーマーにとって持ち運びやすいのであって、彼等より小さい人間にとっては大き過ぎる代物だ。

「・・・・・・・・・・。」

スタースクリーンはしばらくそれを読んでいたがその一秒後、彼の機械の眼光がさらに赤く、恐ろしく、怒り一色に発光する。

おまけに表情は、ヘビの様に恐ろしい顔と化していた。

理由は、足し算引き算をするより簡単だ。

彼の見たモニタにこう書かれてあったのだ。

スタースクリーンへ、

私だ！神だ！

スマナイ！私が適当にお前等へちよっかい出そうとしたら、間違っ
て『さらに違う世界へ飛ばしてしまった』

悪いが『その世界の物語が終点を迎えるまで、さっきまで居た世界
へ戻れない』

あ、あと……。暇になったらその世界にもトランスフォーマー送るか
らね。

バイバイキーン

神より

ームはその手を振り払う。

「無理だ、この世界の物語が終わるまで帰れないぜ？」

やる気の無い表情を二人に向けた。

だが二人は彼の不甲斐ない表情と、具体的かつ意味不明な説明に納得がいかない。

「「イヤイヤイヤ」」

「だから、物語が終わるまで戻れねえんだよ！」

八つ当たり気味に怒鳴る。

「「・・・・・・・・・・・・・・・・」」

二人は顔を見合わせた。

「「も、物語・・・・・・・・・・？」」

「とにかく、だ。これからエネルギー確保しなけりゃ、力尽きちまうな・・・・・・・・・・」

スタースクリーンは表情を何時もどつりに整え、ある場所を指差した。

「街、か？」

サンダークラッカーが問う。

「そうだな。物語が終わるまでと言っても、エネルギーは必要不可欠。とにかく街にあるエネルギーを根こそぎ貰うんだ」

スタースクリームが得意げに言う。

それに対しスカイワープは半笑いでこう言った

「なんか、久々にデストロンらしい事する気がするんだが、気のせいかな？」

「と言うより、正義みたいな事していたよな」

サンダークラッカーが呆れ気味に言う。

スタースクリームは、ニイとひたすら薄く笑う。

「野郎ども！この俺、ニューリーダーに続け！ジェットロン、アタック！！」

そして何気ない公園に似合わない、ジェットエンジンの爆音が響く

始まりは単なるイタズラ（後書き）

スタスク「神を殺す。そう決意した」

スカワ「いや、神殺すとか無理でしょうお」

サンクラ「お前って目的がコロコロ変わるよな」
デストロン軍のニューリーダー

キチ イへの復讐

神を殺す

スカワ「野心家とか怖いな……」

ジェットロン説明(前書き)

スタスク「俺様の最強の強さが解るぜ！」

スカワ「てやんでえい！自分だけパワーアップしやがって！」

サンクラ「いいもん・・・・・・・・どうせ俺なんて地味な兵士だよ
・・・・・・・・！」

ジェットロン説明

ジェットロンとは？

機械惑星、セイバートロンに住むロボット生命体、『トランスフォーマー』。

彼等の大きさには個体差があるが、少なくともジェットロンの大きさは巨大で、トランスフォーマーにとって『標準』の大きさである。

悪の軍団『デストロン』に所属していた。

その中でも航空戦力が優れており、デストロンの主戦力と言っても過言ではない。

が、リーダーたる『スタースクリーム』が反逆罪で『ガルバトロン』に破壊され死亡。

しかし彼は特別なスパークの持ち主で、死んでもなお幽霊の様に状態で現世にとどまる事が出来、『ガルバトロン』への復讐を試みるがこれまた失敗する。

そして、その時にはジェットロンの中でも指折りの戦士、『スカイワープ』、『サンダークラッカー』も戦死。

だが、『トランスフォーマーの神』によって3人は生き返らせられ、『違う世界へ転生』させられる。

その中で、スタースクリームだけパワーアップする形となって転生させられた。

だが、神の手違いで『さらに違う世界』へ飛ばされ、現在に至る。

注意：ジェットロンはこの三人以外にも多数存在するが、この3人の事を合わせて『ジェットロン』と表記される

キャラクター説明

スタースクリーン

地位 | ジェットロンリーダー（航空参謀）

ビークルモード | F15イーグル

説明

ジェットロンのリーダーで野心家である。

神の力によって、力、体力、速度、耐久力など、全てが大幅に上がっている。

色はグレー、赤、青などである。

過去に、メガトロンを裏切り、自分がナンバー1になろうとしたが、パワーアップして復活した『ガルバトロン』に殺される。

その後、トランスフォーマーの神にパワーアップさせてもらい、違う世界に飛ばされる。だがその世界で活動していたが、さらに違う世界へ飛ばされ現在に至っている。

彼のスパーク（魂）は特殊で、機体が破壊されても幽霊として、この世に滞在できる。『不死身のスパーク』と言っても過言ではない。なお、幽霊体状態では、ロボット、人間、動物、構わずにとり付き本人の意志とは関係なく操る事ができる。

だが、彼にとってこの状態は寒気を感じるらしく、よっぽどの事がないとこの状態にはなりたがらない。

自分の力、スタイルに自信があり、自分の事をハンサムと言うほど。武器は、相手の回路を麻痺させる『ナルビーム』だったが、今は破壊力もある『ナルキャノン』にパワーアップしている。

口の上手さを生かして、脅迫、恫喝など様々な手で、相手を丸め込む事もある。

野心家であるが現在は若干優しくなったイメージがある。

速度がずば抜けて速く、無限のスピードを誇る。普段は加減しマツハ10〜20程度で飛行している。

サンダークラッカー

地位―ジェットロン達成員（航空兵）

ビークルモード―F15イーグル

説明

神に、スパークと機体をコピーされ、スタースクリームのおかげで復活をとげる。

姿はスタースクリームと同型で色は水色とグレーである。

コピー体ではあるが記憶、能力を全て受け継いだためサンダークラッカー本人であることに変わりが無い。

武器は火炎放射器によるファイヤーアタックとソニックブーム。

衝撃派を操る事が出来、何処でも衝撃派を生み出せる事が出来る。飛行機特有のジェットエンジンの爆音を消して飛行できる。

仲間が慌てたり驚いたりしている様を指して「ヒューズがぶっ飛び

そうだったってよ」や「ヒューズでも飛んだのか？」などとヒューズにからめて表現するのが癖。

卑屈で事勿れ主義な性格であるが、他のメンバーに比べれば温厚な性格であり、突飛な言動で喧嘩になった仲間をたしなめている。

その為、元々デストロンの『宇宙征服』と言うやり方にあまり賛成ではなかった様子。

この様な事からジェットロンの中で一番『正義の意思』が有る。仲間に地味とからかわれる事がある。

最初はスタースクリームを全く信用していなかったが、現在は彼の事を見直している。

スカイワープ

地位 | ジェットロン達成員 (航空兵)

ビークルモード | F15イーグル

サンダークラッカー同様、神にスパークと機体をコピーされ、スタースクリームのおかげで復活をとげる。

姿はスタースクリームと同型で色は紫と黒である。

コピー体ではあるが記憶、能力を全て受け継いだためスカイワープ本人であることに変わりが無い。

2.5マイル (約4km) の範囲でワープが可能である。武器としてはサイドワインダー、及び可変口径マシンガンを装備している。

愉快的にからかうのが好きという一面もあり、空を飛べないものや小さいものからかうという事などもしばしば。物事において馬鹿騒ぎする事も多い。

デストロンの中でも『メガトロン』に忠実であった為、デストロン

の意思がジェットロンの中で一番強い。
がしかし、友好関係を築くのが好きとは言えなくもなく、特に極悪
と言う訳でもない。
身分的にはスタースクリームの下に位置しているが、彼とは慣れ慣
れしく接している。

ジェットロン説明（後書き）

スタスク「作者アアアア！ガルバトロンに殺されたとか余計な事書くなアアアい！」

スカワ「これだ。コイツは自分の黒歴史を消そうと必死なようだ」

サンクラ「次回、ついに物語は動き始める！またまた凄い事になっちゃうかも！？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0049t/>

変形黙示録 -ジェットロン-

2011年10月8日17時24分発行